

info

04

子どもおよび子育て世代の予防接種



 予防接種を受けましょう

五種混合ワクチンについて
 (ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎、Hib)

4月1日より従来の四種混合ワクチンにインフルエンザ菌b型(Hib)を加えた五種混合ワクチンが定期接種となり、生後2カ月から接種が可能です。現在、四種混合ワクチンで接種を進めている場合、原則としては同一のワクチン接種を行うこととなっています。

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)
 予防接種費用を一部助成しています

無菌性髄膜炎やムンプス難聴などの合併症を引き起こすこともあるのでワクチンによる予防が重要です。



- 対象 おたふくかぜにかかったことやワクチンを接種したことがない1歳から就学前までのお子さん
- 助成額 1人1回に限り4,000円(接種後に助成額を差し引いた金額を医療機関窓口でお支払いください)

子宮頸がん予防ワクチンの接種について

令和4年4月から積極的な勧奨を再開し、対象者には個別通知にてお知らせしています。今年度の標準接種対象である中学1年女子には接種券および予診票を送ります。また、勧奨が差し控えになっていたことにより接種機会を逃した平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの方にも個別通知にてお知らせします。

接種できる期間は令和7年3月31日(月)までとなっています。対象となっている方は接種期間を逃さないよう早めに接種を受けてください。

なお、令和5年4月から9価HPVワクチン(シルガード9)も定期接種で受けることができるようになりました。

病気にかからないことや重症化を防ぐためには、予防接種で抵抗力(免疫)をつけることが有効です。対象年齢になったら体調の良い時に積極的に受けましょう。

県外でお子さんの定期予防接種を希望される方へ

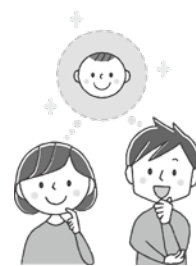
里帰りなどの理由により、県外で定期予防接種を希望する場合、事前に「定期予防接種実施依頼書」を取得する必要がありますので、下記まで問い合わせください。

妊娠を希望する夫婦などに
風しん任意予防接種費用を全額助成しています

妊娠初期に風疹にかかると、難聴、心疾患、白内障や発達障害などの先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれてくる可能性があります。接種を希望する場合、事前の申請が必要です。

- 対象 風しんにかかったことやワクチンを2回接種したことのない方で、以下のいずれかに該当する方
 - ①妊娠を予定または希望している女性
 - ②「①」の夫
 - ③妊婦の夫

※「風しん抗体検査および定期予防接種費用助成」の対象となっている方はそちらが優先されます。



接種を受けられる医療機関や予防接種に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

問 子ども未来課子ども子育て応援班 (☎55-8275)